

## 保育園にヒマワリをプレゼント

10日、区役所を訪れた園児に、鉢植えのヒマワリがプレゼントされました。このヒマワリは、交流自治体の名寄市の魅力を知ってもらうため、8日・9日の2日間で開催した名寄の写真展の会場を彩ってきたおよそ200鉢で、もちろん名寄市から運んできたものです。今後、2週間ほどは保育園で美しい花が鑑賞できるようです。

杉並区と平成元年に「交流自治体協定」を締結している名寄市は、北海道の北部に位置し、基幹産業は、農業でもち米やアスパラガスの産地として有名です。また、最近ではヒマワリが咲き誇るまち「ヒマワリのまち」としても注目されています。ヒマワリの種を原料にしたクッキーやサンフラワーオイルなど人気の商品としても、また名寄の広大な大地を彩る夏の景色としても、大きな資源となっています。

その名寄市のヒマワリは、7月下旬から8月上旬にかけて、市内の各地で見ることができます。その作付面積は、農業用と景観用と合わせて、およそ60ヘクタール（東京ドーム13個分）の広さがあり、総本数は500万本以上となります。

10日午前10時30分、区立阿佐谷東保育園（阿佐谷南1-42-7）の年長クラスの21名が、区役所を訪れました。



そして、名寄市の職員から、園児一人一人にヒマワリの鉢植えを手渡しました。鉢植えは、30cmほどの茎の上に花を咲かせる「グッド・スマイル」という品種です。園児たちは、鉢植えを手にして、そのヒマワリの名前のように、うれしそうな笑顔を見せていました。

### 【報道機関 問い合わせ先】

文化交流課： TEL：3312-2111 内線3785